

本時のねらい

前時までの学習で得た知識を基に、身近なスーパーマーケットで行われている仕組みや工夫を考えることで、販売の仕事は消費者の願いをふまえて売り上げを高めるよう工夫されていることを理解する。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Jamboard を使うことで、何度も動かしたり配置しなおしたりすることができ、いろいろな考えを出したり、確認したりしながら、自分の考えを練り上げることができる。
- ・短時間で、みんなの考えを共有することができ、自分の考えと比較することで、自分で考えた工夫をブラッシュアップできる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・スライド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の内容をふり返る。 「スーパーマーケットが、どんなところか」 ・いろいろな品物が買える。(食料品・日用品) ・1回で買い物ができる。・欲しい物が買える。 「お店が大切にしたいことは、どんなことか」 ・品物の種類や数・買い物のしやすさ ・品物の値段・品物の品質 ○スーパーマーケットは何のために工夫しているのかを確認する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板にスーパーマーケットで買える品物などを映すことで、視覚的にふり返ることができる。
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてを確認する 「お客さんが来なくなるスーパーマーケットを考えよう」 ・お客さんがたくさん来るための工夫を考える。 ○スライドを使い、班でスーパーマーケットをつくる。 ・それぞれが考えたスーパーマーケットの特徴、工夫を共有し、話し合いながらスーパーマーケットをつくる。 ○班で考えたスーパーマーケットの特徴、工夫点を考え、スライドに書き込む。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドに買える品物のイラストを貼り付けすることで、何度も動かしたり配置したりすることができ、いろいろな考えを試したり、確認したりしながら、学習を進めることができる。 ・交流する時や、特徴と工夫点を考える時にスライドを見ながら確認できる。 ・移動や拡大、縮小がしやすく、商品ごとに色を変えたりして見やすくできる。 ・Chromebook を活用することで、指導者側もすぐに確認でき、児童を支援することができる。
まとめ (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○班でつくったスーパーマーケットについて発表する。 ・特徴と工夫した点を Chromebook と電子黒板を使って共有し、発表する。 ○本時のふりかえりを発表する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスみんなの考えを共有することで、同じ条件から考えていても、季節に関連するどんな品物を置いているか等、工夫している点も違うことに気づくことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】スーパーマーケットが、どんなところかふりかえりの場面



【写真2】スライドを使い、グループでスーパーマーケットをつくっている場面



【写真3】グループで発表している場面

児童生徒の反応や変容

Chromebook を使うことで、品物の陳列棚を簡単に動かすことができ、グループの友だちと相談しながら、何度もやり直して自分たちのスーパーマーケットを楽しんでつくることができた。電子黒板に映すことで、消費者の視点に立った配置の工夫や理由をわかりやすく説明しながら発表することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

スライドを使うことで、自分たちがつくったスーパーマーケットの、配置の工夫や理由を入力し、発表することができた。Chromebook で作業の進み具合を確認できることで、子どもたちへの声かけや支援もスムーズに行えた。写真やテキストボックスの位置を動かしながら考えることで、自分の考えを練り上げてよりよい考えを出すことができた。